



# 天童市民芸術祭



## 第52回天童市民芸術祭のようす

市民文化会館・市民プラザを主会場とし、第52回天童市民芸術祭が開催されました。



ごあいさつ

天童市芸術文化協会

会長 辻 輝彦

第五十二回市民芸術祭は、耐震補強が完成した市民文化会館と市民プラザを主会場に、二十九の催物が参加し、市民芸術の祭典の名にふさわしく、賑々しく開催されました。

芸術文化活動に対する、市民の皆さんの御理解と御支援に心より感謝申し上げます。

さて、今年の九月三日には、県民芸術祭の開幕式典が本市で開催されることになっており、本市にとっては、「第十八回国民文化祭やまがた2003」以来十年振りに訪れた、芸術文化の時代の到来と位置付けても過言では無いと思っております。

県民芸術祭の開幕公演においては、天童が生んだ明治維新の英傑「吉田大八」をテーマとして取り上げており、現在、シナリオも完成して様々な準備を進めておりますので、当日は、市民の皆さんに素敵な舞台をお楽しみいただけるものと思っております。

こうした折も折、政府においては、地方創生の目玉として、文化庁の京都移転を決定したとの報道がなされておりますが、それと軌を一にするかのように、県内においても、山形駅西に待望の県民文化会館の着手、東根市が芸術文化施設を新たにオープン、鶴岡市でも新しい文化会館の建設に着手しているところがあります。中でも、昨年開館したばかりの南陽市文化会館は、木造のホールとしては世界最大の客席数を有し、このたびギネスブックに掲載されるなど、芸術文化の振興に纏わる大きな動きが、澎湃として起こって参りました。

天童市においても、このような芸術文化を巡る国や県内の動向に後れを取ることなく、今回の県民芸術祭の開幕公演を契機として、いまこそ市民文化会館開館当時の熱気や平成十五年の国民文化祭の折の熱度を遙かに凌いで、「文化都市 天童」が新たな地平に飛躍出来ますよう、市民の皆さんの益々の御協力をよろしくお願い申し上げます。



## 天童市芸術文化協会とは

天童市内で活躍する文化団体が連携を図り、文化活動の健全な発展と、地域文化の振興を図ることを目的として、「天童市民芸術祭」の運営や「天童市芸術文化振興基金」を活用した市民の芸術文化活動の支援を行っています。

平成27年から、名称を「天童市文化団体協議会」から「天童市芸術文化協会」に変更し、新たな天童市芸術文化協会の更なる発展と本市の芸術文化の振興のため、活動してまいります。

加盟申込み  
問合せ

天童市市民部文化スポーツ課 芸術文化係

電話023-654-1111

〒994-8510 天童市老野森1丁目1番1号



## 第54回山形県民芸術祭開幕記念公演

# 『未来は託す～「吉田大八と天童」～』

平成28年に、山形県民芸術祭開幕式が天童で開催されます。

天童市芸術文化協会は、天童市の偉人である「吉田大八」をテーマとした天童市をあげての舞台を計画しております。当日は是非会場におこしください!

### 吉田大八人物像

天童織田藩の家老である吉田大八は、戊辰戦争での天童藩存亡の危機において、命をかけて藩を守った天童の偉人です。

また、改革取締役として、財政難の天童藩を救うため、藩政改革、将棋の駒作りの奨励などといった産業振興にも取り組みました。

▶ **日 時** 平成28年**9月3日**(土)

● **開幕式典**:午後1時30分～

● **記念公演**:午後2時～

▶ **会 場** 天童市市民文化会館

▶ **出 演** 天童市芸術文化協会加盟団体  
県立天童高校演劇部 ほか

\*そのほか 呈茶、天童市芸術文化協会加盟団体の展示など

問合せ：天童市文化スポーツ課芸術文化係 (023-654-1111)

## 平成27年度 天童市芸術文化協会加盟団体

番号	団体名	代表者	番号	団体名	代表者
1	村山美術	遠藤昭吾	25	天童俳句会	長谷川義昭
2	宝樹社	伊藤有光	26	天童なつメロ愛好会	奥山領一
3	らくがき会	辻輝彦	27	舞踊連盟鳳舞会	松若寿恵玲
4	天童短歌会	鈴木綾子	28	天童市野草と親しむ会	佐藤定四郎
5	天童市合唱団体連絡協議会	工藤俊孝	29	クラシックバレエしらゆり会	矢作葵
6	若葉の音楽会	秋保博	30	川東民謡連合会	佐藤昭二
7	ビッグ・スウィング・フェイス	阿部豊明	31	日本将棋連盟天童支部	大泉義美
8	天童市書道連盟	鈴木千岳	32	天童広重研究会	辻輝彦
9	全日本写真連盟天童支部	渡部潔	33	箏愛好会(箏慶会)	宮本伶慶
10	天童梅若亀弘会	松田充弘	34	天童市大正琴愛好会	斎藤正子
11	天童緑鳳会	安喰邦男	35	赤松盆友会	会田清
12	乾ふじ会	藤間乾	36	天童押し花サークル	山口静子
13	佛向寺踊躍念佛保存会	井澤隆徳	37	天童市伝承芸能保存団体協議会	山口清志
14	高掬聖霊菩提獅子踊保存会	岡崎俊雄	38	天童春蘭愛好会	細矢金一
15	天童維新軍楽隊保存会	山口清志	39	天童ハワイアンクラブ	東海林仁
16	天童市詩吟愛好会連絡協議会	大木広子	40	天童歌謡クラブ	野口幸男
17	天童市茶華道連合会	佐野宗鶴	41	龍翔会	龍連山
18	天童郷土研究会	湯村章男	42	能楽あ字門の会	森川慶子
19	吉田大八会	矢吹海慶	43	日本画竹馬会	設楽雅信
20	天童盆栽愛好会	黄木紘友	44	天童ジュニアオーケストラ	増川のぶ子
21	日本盆栽協会天童支部	瀬野文義	45	パッチワークサークルドリームコットン	安孫子夏江
22	天童民謡寿菁会	伊藤完一	46	天童菊の会	五十嵐友一
23	雑誌「天童」	鈴木実	47	YCBクリスタルサウンズ	矢萩啓三
24	天童市プラス・オルケスター	佐藤由美子			

## ●天童市合唱団体連絡協議会●



今年初めて相互交流都市の多賀城市から合唱団「葛」をお迎えして、盛大にコンサートを開催しました。コンサート終了後には懇親会を開催し、大いに交流を図りました。

## ●日本画竹馬会●



市民ギャラリーにおいて、会員の一年間に創作した作品を展示いたしました。

ゆったりとした会場空間を利用したの展覧会でしたので、遠方からの鑑賞者や市民の皆さんからも大変好評をいただきました。

## ●YCBクリスタルサウンズ●



結成10周年を記念して第3回定期演奏会を市民プラザ多目的ホールで開催しました。

## アトラクション



天童市詩吟愛好会連絡協議会  
「天童八景」「宝船」

# 部門別芸術祭日程表

### 〈展示・発表部門〉

催 物	実施期日	会 場	実施団体
日本盆栽協会天童支部展示会	10月9日(金)～11日(日)	市民プラザ	日本盆栽協会天童支部
天童盆栽愛好会展示会	10月16日(金)～18日(日)	市民プラザ	天童盆栽愛好会
全日本写真連盟 天童支部写真展	10月20日(火)～10月25日(日)	市民プラザ	全日本写真連盟天童支部
天 童 菊 花 展	10月23日(金)～11月6日(金)	わくわくランド	天 童 菊 の 会
市 民 美 術 展	10月27日(火)～11月1日(日)	市民プラザ	村山美術・宝樹社
茶 会 ・ 花 展	花展: 11月7日(土)～8日(日) 茶会: 11月8日(日)	市民文化会館	天童市茶華道連合会
第22回押し花額絵作品展 (押し花しおり作り無料体験)	11月12日(木)～15日(日)	市民プラザ	天童押し花サークル
短歌、俳句、雑誌「天童」 合同展	11月6日(金)～8日(日)	市民プラザ	天 童 短 歌 会 天 童 俳 句 会 雑 誌 「 天 童 」
天童春蘭愛好会展示会	11月7日(土)～8日(日)	市民プラザ	天 童 春 蘭 愛 好 会
幼児と絵描きで遊ぼう会	11月13日(金)	市民プラザ	ら く が き 会
第63回市民書道展	11月18日(水)～22日(日)	市民プラザ	天童市書道連盟
第36回日本画竹馬会展	11月24日(火)～29日(日)	市民プラザ	日本画 竹馬会
第35回天童書道クラブ展	12月4日(金)～12月6日(日)	市民プラザ	天童書道クラブ

### 〈音楽・演劇・舞踊部門〉

YCBクリスタルサウンズ 結成10周年記念コンサート	10月25日(日)	市民プラザ	YCBクリスタルサウンズ
第26回天童市吹奏楽の祭典	11月1日(日)	市民文化会館	天童市・プラスオルケスター
天童梅若謡曲素謡大会	11月8日(日)	市民プラザ	天童梅若亀弘会 天童緑鳳会
箏 愛 好 会 発 表 会	11月8日(日)	市民文化会館	箏 愛 好 会
第19回天童市琴城流 大正琴愛好会発表会	11月21日(土)	市民プラザ	天童市大正琴愛好会
乾ふじ会・鳳舞会 日本舞踊合同公演	11月23日(月)	市民文化会館	乾ふじ会・舞踊連盟鳳舞会
天童コーラスフェスティバル2015	11月29日(日)	市民文化会館	天童市合唱団体連絡協議会
第42回天童市詩吟愛好会 吟詠吟舞大会詩吟の集い	11月29日(日)	市民プラザ	天童市詩吟愛好会連絡協議会
なつメロ愛好会発表会	12月6日(日)	市民文化会館	な つ メ ロ 愛 好 会
ビッグ・スウィング・フェイス 37thリサイタル	12月13日(日)	市民文化会館	ビッグ・スウィング・フェイス
レインボーコンサート	12月27日(日)	市民文化会館	若 葉 の 音 楽 会

### 〈講座・民俗芸能・将棋部門〉

第51回市民史跡めぐり	10月3日(土)	庄内酒田地区	天童郷土研究会
第21回大山康晴十五世名人杯争奪将棋大会 第44回天童市民将棋大会	10月17日(土)～18日(日)	市総合福祉センター	日本将棋連盟天童支部
第14回半日歴史散歩	10月31日(土)	寺津方面	天童郷土研究会
佛向寺踊躍念仏公開	11月17日(火)	佛向寺	佛向寺踊躍念仏保存会
文化講演会 「江戸時代の旅の大衆化について」	1月11日(月・祝)	広重美術館	天童広重研究会



創るよろこび、深めようわれらの文化

# 第52回天童市民芸術祭

## ●天童市ブラス・オルケスター●



合同演奏では、売れっ子作編曲家・打楽器奏者として有名な杉浦邦弘先生をお迎えし、先生の作品である「ど演歌えきすぶれす」などを演奏し大盛況でした。

## ●乾ふじ会●



鳳舞会、乾ふじ会日本舞踊合同公演は、たくさんの方に観に来ていただき大盛況でした。

おちゃめで元気な子供達と一緒に、パワー全開で頑張ってます。

## ●天童菊の会●



第52回天童市民芸術祭参加「第38回天童秋まつり菊花展」開園式テープカットの様子。(中央:山本市長)

菊の会:佐藤政幸

## ●天童郷土研究会●



半日歴史散歩(寺津地区)の開催  
寺津地区の史跡・文化財を30名の参加者で巡りました。  
(写真は水郷寺津資料館前の源氏山の銅像です)

## ●天童春蘭愛好会●



毎年春秋2回、パルテ等を利用して展示会を開催しております。春は、春を告げる花物、秋は様々な葉の模様の柄物を主体に展示会で技術を高めています。

## ●天童盆栽愛好会●



「BONSAI」で世界的に通用するまでになった日本伝統の盆栽を、日常生活の一部として、会員は日々楽しんでおります。

## ●天童市茶華道連合会●



きれいになった展示室  
初めての花展開催、花も和やかに微笑んでいるようです。  
又、天心庵では、一碗のお茶に心を和ませた茶会です。

## 第52回天童市民芸術祭閉幕祝賀会

とき  
2月17日(水) 午後6時  
ところ  
ほほえみの宿滝の湯

第52回天童市民芸術祭閉幕祝賀会



天童市芸術文化協会  
辻輝彦会長よりあいさつ



受賞者を代表して、天童市書道連盟  
東海林友吉氏よりあいさつ



万歳三唱:  
天童歌謡クラブ 丹野政敏氏

舞踊連盟鳳舞会



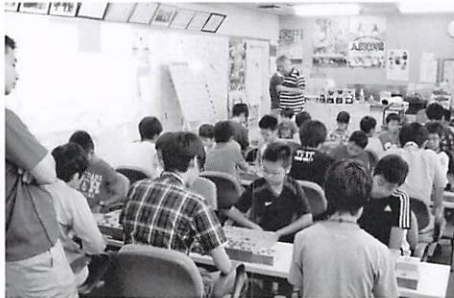
昭和49年 松若寿恵玲会 発足  
 昭和63年 松若寿恵玲 社中  
 // 若柳貴由美 社中  
 「舞踊連盟鳳舞会」という名称にて、天童市文化団体に加入、結成となる。  
 目的：伝統文化の日本舞踊の研究と会員相互の親睦を図るため。  
 春-4月 花駒フェスティバル  
 // 舞鶴山広場に於いて花駒おどり披露  
 夏-8月 夏祭り花駒パレード、夏祭り花笠パレード  
 秋-9月 清幸園(成生) (敬老会)  
 10月 天童市芸術祭発表  
 冬-12月 なつメロ愛好会競演  
 「松若流山形支部」結成 平成5年3月7日  
 「山形松若流舞踊大会」平成5年、8年、12年、17年、21年舞台発表を華やかに熱演し、披露を務めて参りました。  
 大会毎に、天童市文化振興基金に寄贈して参りました。  
 他に、他県に於いて発表の際は、応援に必ず出席致します。

天童市野草と親しむ会



恒例の事業として、市民と一緒に、舞鶴山の新春の植物観察と樹木の名札整備を行なっている。  
 ジャガラムガラの植物観察会は、常時行なっている。特に、東日本大震災後、ジャガラムガラの風穴の温度が急激に0度を記録し、注目を浴びるようになったので、注意深く観察を行なっている。  
 水晶山にハシドイが見つかり、それが風穴と関わりがあることが分かって、永いこと、その保全整備を行なってきた結果、見事に群生してきて、天童市の天然記念物に指定された。これから、恒例の事業として、整備と観察会を行なっていきたい。  
 バスをチャーターして、市民と一緒に、「もみじの天童」の天童市内もみじの紅葉巡りと芋煮会を行なっている。これは毎年継続事業と考えている。  
 その他、会報「やなぎらん」の年3回の発刊や、新年研修会と親睦会、花の百名山のビデオ鑑賞会、そして、年度末に総会と記念講演を行なっている。

日本将棋連盟天童支部



支部創立も52周年目になり、平成27年度も本部主催のイベント、県連合会、天童市関連の事業、支部主催の盛りたくさんの事業、各種団体との共催事業などまさにフル回転しております。  
 また、かいせつ10年になりました天童将棋交流室も訪れた人が6万人を超えました。将棋資料館と隣接なので相乗効果も十分発揮され、「将棋のまち天童」に相応しい将棋を通じた交流の場としての文化施設になりました。  
 さらに交流室での天童少年少女将棋教室も「将棋は礼儀作法」を重点的な目標を掲げ、念願のプロ棋士誕生のためのプロ棋士による指導など、土曜日の交流室は市内外の会員で満席となっています。  
 市内の小学校将棋クラブ、公民館事業、学童教室などにも積極的に出前指導も実施していっそうの普及に努めています。  
 ●第21回大山康晴十五世名人杯争奪将棋大会並びに第45回天童市民将棋大会  
 将棋愛好家等561名、市内はもとより県内外からも多数参加され、盛大に開催されました。(次の一手、詰め将棋、プロ棋士指導対局、駒飛ばし、どうぶつ将棋、駒制作実演等)

天童広重研究会



平成元年、五名が発起人となって出発した「天童広重研究会」は、市民芸術祭参加の文化講演会や、県内外への移動例会を含めた年5回の例会を軸に活動しています。これまで行った147回の例会では、毎月展示替を行う広重美術館の展示会を学芸員の解説を交えて鑑賞したり、時には会員諸氏から寄せられる珍しい資料や古美術品を皆で評したりと「天童広重」に限らない広い分野で見聞を深めてきました。また、移動例会では近隣の話の展示会や美術館に出かけ、その地の季節を楽しみ、ご当地名物を味わうなど和気あいあいと活動を行っています。  
 毎年開催している文化講演会では、浮世絵の研究者や大学の教授などをお招きして天童藩織田家、浮世絵、幕末の庶民生活など幅広いジャンルの講演をいただいています。講演会は会員以外の参加も大歓迎なので、ぜひ天童や江戸文化の歴史を知るきっかけにお役立ていただければと思います。

# 各団体の活動紹介

## 天童俳句会



天童俳句会は、昭和59年に設立され、これを起点として会員の自由な個性を十分に伸ばしていける研鑽の場としての俳句会を作ろうと努力して参りました。天童市において、江戸及び明治の伝統を復活させて、子供から老人まで俳句に興味を持ち、生活に市民的情趣を添えて行きたいということが派閥にとられない天童俳句会であります。

年間の主な事業は、

1. 毎月一回例会(句会)を開催
2. 年2回吟行句会を開催
3. 市民芸術祭に俳句発表会として参加
4. 県俳句協会主催や県外、県、各市町村の俳句大会に参加
5. 新春句会を開催
6. 市報、雑誌「ひろば」へ寄稿
7. 各俳句大会参加

## 天童なつメロ愛好会



天童なつメロ愛好会は「歌姫」佐藤千夜子を産んだ天童の地において、時代とともに生まれ育った「なつメロ」に親しみ、その歌唱力の向上と会員相互の親睦を図ることを目的に活動しています。毎年12月に発表会を開催しており、今年も12月4日に天童市民文化会館において、「第31回なつメロと新舞踊のひととき」を、市民芸術祭参加の発表会として開催し、また毎年、売上の一部を文化振興基金に寄贈しております。

これからも、「社会貢献」として歌のボランティア活動をしてまいります。

## クラシックバレエしらゆり会



当教室は、先代の田嶋喜代江氏から引き継ぎ、現在「矢作 葵クラシックバレエ教室」として、活動しております。

現在は、夏の集中講習会4日間、年末のレッスン場大掃除大会、そして年1回の発表会を目標に日々のレッスンに励んでいます。当教室の特徴は、一人一人に目を向け個性を伸ばしていくことです。また、体を動かすことの楽しさ、舞台上がり踊る事の喜びをクラシック音楽と共に学んでいます。

ここまで、活動できたのも地域皆様の温かいご支援があったからだと思えます。そのご支援に応えられるよう、これからも全会員、励んで参ります。

日々のレッスンで心身を鍛え、心地よいクラシック音楽の中、美しい姿勢でスポットライトと一緒に浴びてみませんか。

## 川東民謡連合会



「民謡は心のふるさと / 私たちの遠い祖先が / 素朴な生活の中から生み出した / 豊かな心の現われです」川東民謡連合会は創立以来65年の長きに亘り、山形県の民謡界に歴史を刻んで参りました。この間、民謡全盛時代の競り合いを乗り越え、過去5名の県民謡チャンピオンを輩出しており伝統ある民謡会であります。優れた諸先輩、指導者に恵まれて、会員相互の練習はもちろん、地域の芸術文化の普及と発展のためには惜しみなく活動を続けてまいります。これからも日ごろの練習の成果を発表できる機会(地域のイベント、夏祭、敬老会、老人ホーム)を逃さず、失敗を恐れず挑戦することが自信となり、一層民謡との関わりが楽しいものになるものと確信しております。

現在小学校の音楽教科書には全国の有名な民謡が掲載されております。日本の伝統音楽であります民謡に、是非子供さん達にも触れ合う時間を取って頂ければ幸甚に存じます。

## 平成27年度 功労賞・奨励賞受賞者一覧



### ◆功労賞

阿部シゲ様	村山美術
大脇武文様	天童春蘭愛好会
高原幹明様	YCBクリスタルサウンズ
滝口香代子様	天童市詩吟愛好会連絡協議会
東海林友吉様	天童市書道連盟
松田恵喜子様	天童市合唱団体連絡協議会



### ◆奨励賞

東海林敬雄様	日本将棋連盟 天童支部
丹野政敏様	天童歌謡クラブ
伊藤寛二様	天童俳句会
今野シズエ様	天童押し花サークル

## 天童の文化探訪 4

### ●高掬夜行念佛

高掬夜行念佛講は、旧暦の七夕（現在の8月6日）の夜から翌日の早朝にかけて、村山地方の霊場である山寺立石寺の寺院、御堂及び旧跡を参拝し、無縁の死者や先祖の供養を行ってゐる念佛講である。平成11年に文化庁の記録作成を講ずべき無形の文化財に選択され、平成13年に市の無形民俗文化財に、また、平成18年には、明治時代からの高掬夜行念佛講の古記録が市の有形民俗文化財に指定されている。



現在、県内の夜行念佛は、高掬夜行念佛講と山寺夜行念佛保存会が伝承しているのみであるが、高掬夜行念佛講は、江戸時代の享保年間以前に始まったと言われており、その後、何度かの中断があったものの、大正5年に再興され、平成27年に再興百年を迎えたことから、平成27年11月22日（日）に再興百周年を記念した法要、念佛講中による念仏及び回向、記念講演等が盛大に執り行われた。

### 【編集後記】

平成28年3月発行の「天童市芸術文化協会」広報誌は、皆様の温かいご協力によりまして4回目になりました。

また、今年度は、平成28年9月3日に天童市を会場として行われます、山形県民芸術祭開幕式の前年度でもあり、その開幕記念公演に向けて、何度も話し合いが持たれております。天童市芸術文化協会加盟団体の会員のみならず、市民の皆様あげての記念講演を目指しまして、一歩ずつ進めて行きたいと思っております。

さて、東京都目黒区に五百羅漢寺があります。その羅漢の書に「仲良く睦みあう」という言葉があります。芸術文化を愛する市民の皆様にご感謝を込めまして、お伝え致します。

編集委員長：松村昌子

- ◆編集委員…松村昌子、伊藤有光、大内久子、黄木孝一、森川慶子、大沼武、松若寿恵玲
- ◆アドバイザー…森睦



きらめき

題字  
鈴木千岳